

NSF、全米生態観測施設ネットワークの構築に4億3,400万ドルを拠出（7月28日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は、北米大陸における環境の変化による影響を調査する全米生態観測施設ネットワーク（National Ecological Observatory Network : NEON）プログラムで利用される観測所の建設資金として、2011年度1,250万ドルを含む、総額4億3,400万ドルを交付することを発表した。NEONプログラムは、全米24州にネットワークノードとなる観測所を構築し、気候変動、土地利用の変化、天然資源及び生物多様性に係る外来種の影響について、北米大陸全土の30年以上に亘るデータを収集・統合し、環境変化の兆候を探知することを目指すものである。同観測所の建設は2011年度中に開始され、環境変化に係るデータの収集は早ければ2013年から可能になるが、本格的な科学研究のためのNEONの運用は2017年からとなる予定である。

National Science Foundation, *NSF Awards Construction Funding to National Ecological Observatory Network*

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=121207&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click